

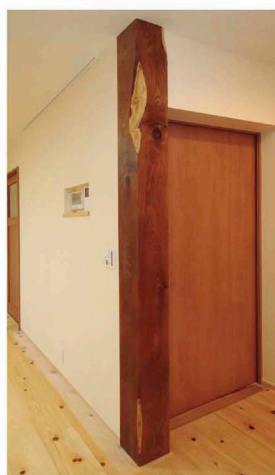
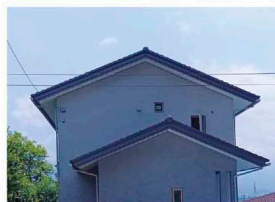
完成見学会 6月28日(土)・29日(日)

■2会場同時開催 午前10時～午後5時

自然素材の断熱材と外壁による ライフサイクルコストを抑えた 健康＆自然住宅



日本の住まい原点回帰



近年、不安定な世界情勢により、私たちを取り巻く環境は変化が絶えません。住宅建築はコロナ禍によるウッドショックや原油高騰により資材の価格上昇が続き、混沌とした先の見えない時代へと突入してきました。春原木材は国産材を有効に活用して、価格高騰に左右されない家づくりをしています。流行よりも長期的な視点で、普遍的な価値を追求してきた春原木材の哲学。日本の伝統構法による職人の技術の結晶。それが「ピュアナチュレ」シリーズです。

春原木材オリジナル 国産無垢の床材



ヒノキの無垢の床材(豊野町会場)

春原木材オリジナル無垢の床材は、一般的な床材の2倍以上の厚さがあり、素足のままで木のぬくもりを感じられる質感があります。木の持つ調湿効果を妨げない自然塗料仕上げです。

春原木材オリジナル 収納スギ無垢板張り



ファミリークローゼット

呼吸する断熱材

セルロースファイバー



セルロースファイバーの床下への吹込み(豊野町会場)

- 冷暖房費の大幅削減
- 加湿機、除湿機が不要
- 家が長持ちする
- 遮音性が高い
- 高密度で、断熱欠損が少ない



「呼吸する断熱材」セルロースファイバーが持つ調湿性に加え、心地よさの秘密は「容積比熱」にあります。「夏、家に帰って来た時にムッとしていない」「2階の暑さが明らかに他の断熱材と違う」そして1番多い感想が「空気がさわやか」というもので、アンケート結果からも体感による評価が高いです。セルロースファイバーは、容積比熱がグラスウール16Kの約7.7倍も優れているため、その蓄熱性の高さから室温への影響が少なくなります。同じ断熱性能のグラスウールに比べ、四季を通してセルロースファイバーが2℃程度違うため室温の変化がとても緩やかです。さらに「呼吸する断熱材」の特徴として、快適な湿度を自然にコントロールしてくれるのです。蒸し暑い日でもカラリとした涼しさが体感できます。

完成見学会・長野市豊野町



火山灰シラス壁

- 高い断熱性能がある
- 耐候性に優れている
- メンテナンスフリー
- 臭いや化学物質を吸着
- 夏は打ち水OK 気化熱で室温低下

シラスは非常に細かい微粒子の中に、無数の穴が開いた複雑な構造で、これにより優れた調湿機能やガスの吸着性能が高く、シラス粒子中の空洞に臭い分子や化学物質を吸着してくれ、消臭・分解、殺菌、イオン化などの機能を発揮すると考えられます。



呼吸する外壁

春原木材は 100年後の未来の子どもたちのために、安心・安全に暮らせる「本物の木」を使った家をこれからもつくり続けていきます。



株式会社
春原木材

未来へ伝える木のぬくもり

春原木材

ホームページ
<https://sunohara-kinoie.jp>

フェイスブック
インスタグラム



